

テーマは「認定農業者のいる農業経営体」

本分析結果の利用にあたって（留意事項）

認定農業者とは、農業経営基盤強化促進法（昭和 55 年法律第 65 号）第 12 条に規定する「農業経営改善計画」を市町村に提出し、認定を受けた農業者をいいます。

また、認定新規就農者とは、農業経営基盤強化促進法に基づき市町村が設定した新規就農者の農業経営の目標（所得目標等）の達成に向けて、今後5年間における自らの取組を内容とする「青年等就農計画」を作成し、市町村から認定された新規就農者をいいます。

なお、本分析で用いた認定農業者または認定新規就農者がいる農業経営体に関する調査結果データについては、2020 年農林業センサスにおいて、市町村職員が農林業経営体調査客体候補一覧表に記載されている名簿情報のうち、認定農業者及び認定新規就農者がいる農業経営体に該当するものに印を付す方法により把握されたものです。



Maff Navi

まふナビ東北

Vol.26 [令和 6 年 6 月]

「まふナビ東北」では、各種政府統計調査結果や行政データ等を活用して分析した東北農業の実態に関する分析データをお届けします。

[発行]
農林水産省 東北農政局 統計部

認定農業者がいる農業経営体数

東北 6 県には農業経営体が 19 万 4,193 経営体ありますが、認定農業者または認定新規就農者のいずれかがいる農業経営体数は 4 万 4,078 経営体となっています。

このうち、認定農業者がいる農業経営体数は 4 万 3,306 経営体で、農業経営体全体に占める割合は 22%となっており、これは全国平均を 3 ポイント上回っています。

また、県別に認定農業者がいる農業経営体数及び農業経営体数割合をみると、ともに山形県が一番多く、次いで秋田県、青森県の順となっています（表 1）。

認定農業者がいる農業経営体数（組織形態別）

認定農業者がいる農業経営体の組織形態を見ると個人経営体が 4 万 779 経営体（全体に占める割合 94%）、会社 1,454 経営体（同 3%）、農事組合法人 839 経営体（同 2%）、その他 234 経営体（同 1%）となっています。

一方、認定農業者がいる農業経営体数割合を組織形態別にみると、個人経営体は 22%ですが、会社及び農事組合法人では 6 割を超えています（表 2）。

表 1 認定農業者がいる農業経営体数

（単位：経営体数）

区 分	農業経営体数	うち、認定農業者または認定新規就農者がいる農業経営体数		
		認定農業者が いる農業 経営体数	認定農業者 が いる農業 経営体数 割合	
全 国	1,075,705	206,347	201,513	19%
東 北	194,193	44,078	43,306	22%
青森県	29,022	7,841	7,664	26%
岩手県	35,380	6,442	6,346	18%
宮城県	30,005	5,183	4,998	17%
秋田県	28,947	8,391	8,292	29%
山形県	28,241	9,196	9,077	32%
福島県	42,598	7,025	6,929	16%

資料：2020年農林業センサス結果

表 2 認定農業者がいる農業経営体数（組織形態別）

（単位：経営体数）

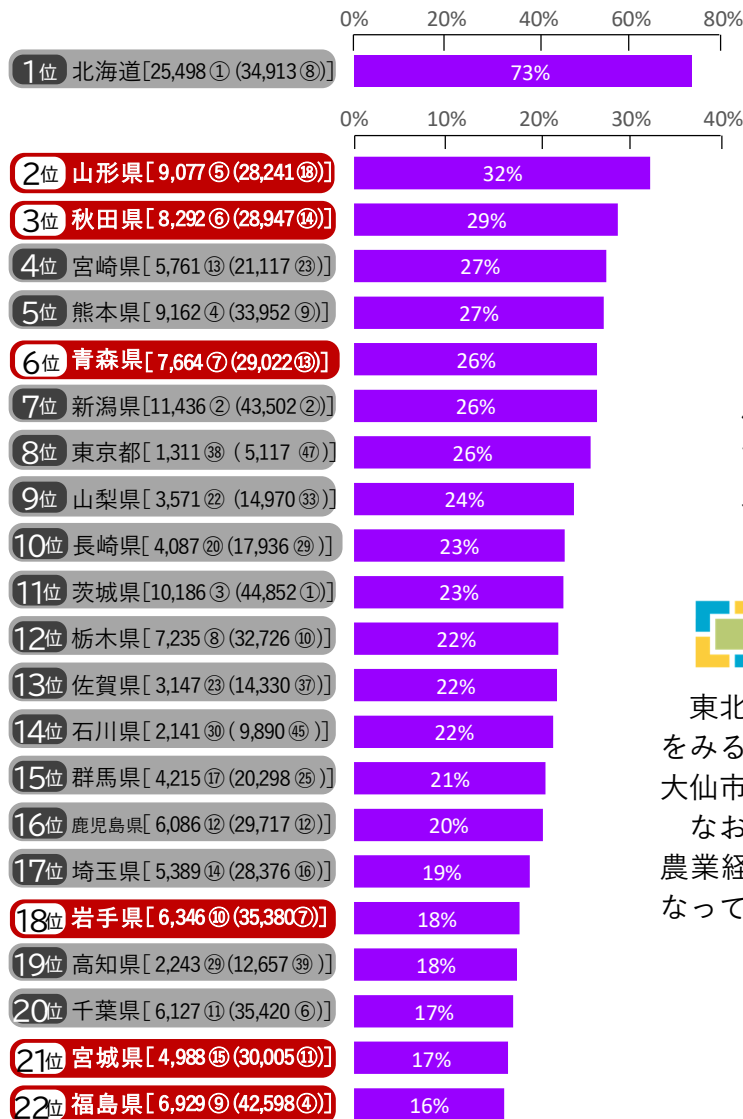
区 分	計	認定農業者 が いる割合	個人経営体 認定農業者 が いる割合	会社 認定農業者 が いる割合	農事組 合法人 認定農業者 が いる割合	その他 認定農業者 が いる割合
東 北	43,306	22%	40,779	22%	1,454	61%
青森県	7,664	26%	7,353	26%	230	58%
岩手県	6,346	18%	5,846	17%	260	63%
宮城県	4,998	17%	4,529	16%	261	64%
秋田県	8,292	29%	7,857	28%	149	55%
山形県	9,077	32%	8,649	32%	267	70%
福島県	6,929	16%	6,545	16%	287	57%

資料：2020年農林業センサス組替集計結果

農林水産省

認定農業者がいる農業経営体数及び農業経営体数割合（都道府県別）

図1 農業経営体数に占める認定農業者がいる経営体数割合（都道府県別）



資料：2020年農林業センサ調査結果
 注1) []の値は認定農業者のいる経営体数
 2) ()の値は農業経営体数
 3) ○中の値は全国順位

都道府県別の認定農業者がいる農業経営体数をみると、山形県が9,077経営体で最も多く、その全国順位は5位となっており、次いで秋田県の8,292経営体（全国順位6位）、青森県の7,664経営体（同7位）となっています。

なお、東北6県は、全国上位15位以内に全ての県がランキングされています。

一方、農業経営体数のうち認定農業者がいる経営体数の割合でも、山形県が32%で東北の中では最も高く全国順位も北海道に次いで2位となっており、次いで秋田県の29%（全国順位3位）、青森県の26%（同6位）となっています（図1）。

認定農業者がいる農業経営体数（東北上位10市町村）

東北の各市町村について認定農業者がいる農業経営体数をみると鶴岡市が1,475経営体で最も多く、次いで横手市、大仙市の順となっています。

なお、鶴岡市、つがる市、酒田市は、認定農業者がいる農業経営体数割合が約4～5割と他の市町村よりも高くなっています（表3）。

表3 認定農業者がいる農業経営体数上位10市町村（市町村別・東北）
（単位：経営体数）

順位	市町村名	認定農業者が いる農業 経営体 数	認定農業者が いる経営 体数 割合	団体経営体	
				個人経営体	法人経営体
1	鶴岡市（山形県）	1,475	44%	1,406	69
2	横手市（秋田県）	1,318	28%	1,230	88
3	大仙市（秋田県）	1,267	32%	1,181	86
4	つがる市（青森県）	1,207	54%	1,194	13
5	一関市（岩手県）	1,002	18%	960	42
6	奥州市（岩手県）	923	15%	886	37
7	酒田市（山形県）	903	46%	848	55
8	弘前市（青森県）	862	18%	825	37
9	大崎市（宮城県）	845	21%	777	68
10	由利本荘市（秋田県）	797	26%	759	38

資料：2020年農林業センサ組替集計結果

農産物販売金額1位部門

認定農業者がいる農業経営体について、農産物販売金額1位部門の状況をみると、稲作が2万5,064経営体で最も多く、次いで果樹類の4,647経営体、露地野菜の3,645経営体の順となっています（表4）。

一方、認定農業者がいる農業経営体数割合でみると、酪農が66.5%で最も多く、次いで養豚の63.4%と畜産部門の農業経営体が上位となっています。

なお、花き・花木、施設野菜も40%以上の農業経営体に認定農業者がいます。

表4 認定農業者がいる農業経営体数及び農業経営体数割合（販売金額1位部門別・東北）（単位：経営体数）

区分	農業経営体数	認定農業者が いる経営体数	割合
酪農	1,907	1,268	66.5%
養豚	366	232	63.4%
花き・花木	2,529	1,048	41.4%
養鶏	485	194	40.0%
施設野菜	5,799	2,333	40.2%
肉用牛	6,437	2,500	38.8%
工芸農作物	1,923	602	31.3%

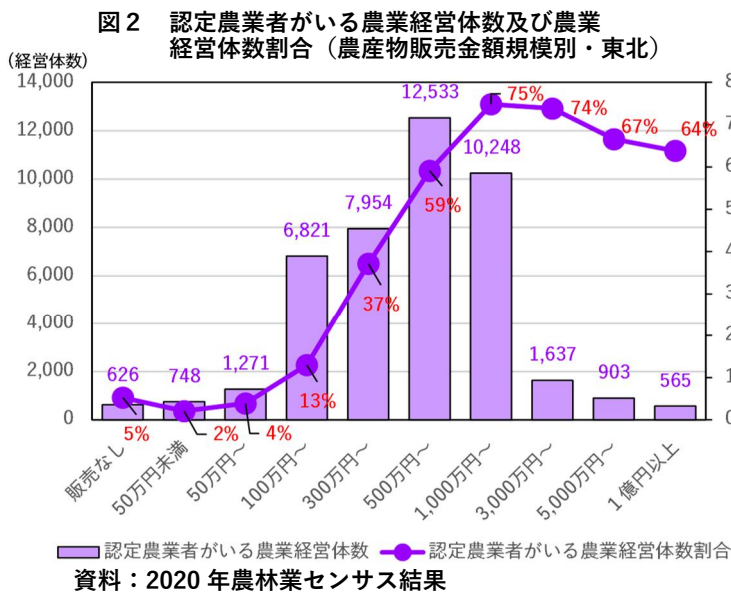
区分	農業経営体数	認定農業者が いる経営体数	割合
麦類作	107	30	28.0%
露地野菜	13,209	3,645	27.6%
稲作	119,637	25,064	21.0%
雑穀・いも類・豆類	2,670	502	18.8%
果樹類	25,043	4,647	18.6%
その他	2,170	615	28.3%

資料：2020年農林業センサ組替集計結果

農産物販売金額規模別

認定農業者がいる農業経営体について、農産物販売金額規模別にみると、500万円以上～1,000万円未満が12,533経営体で最も多く、次いで1,000万円以上～3,000万円未満が10,248経営体となっています。

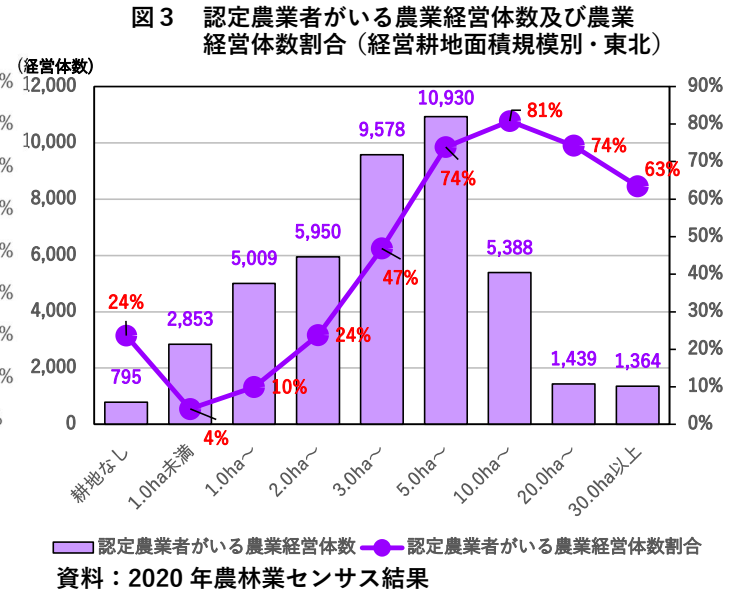
一方、認定農業者がいる農業経営体数割合をみると、農業経営体全体平均が22%であるのに対して、300万円～500万円未満が約4割、500万円以上～1,000万円未満が約6割、1,000万円以上では約7割において認定農業者がいます(図2)。



経営耕地面積規模別

認定農業者がいる農業経営体について、経営耕地面積規模別に見ると、5.0ha以上～10.0ha未満が10,930経営体で最も多く、次いで3.0ha以上～5.0ha未満が9,578経営体となっています。

一方、認定農業者がいる農業経営体数割合をみると、経営耕地面積が大きくなるほど高くなっており、3.0ha～5.0ha未満が約5割、5.0ha以上～10.0ha未満が約7割、10.0ha以上～20.0ha未満が一番高く約8割の経営体において認定農業者がいます(図3)。



経営耕地の借り入れ

農業経営体のうち経営耕地を借り入れている経営体は約3割ですが、認定農業者がいる農業経営体については約6割と高くなっており、特に山形県及び宮城県では約7割となっています。

また、経営耕地面積のうち借入耕地の割合は、農業経営体全体では約4割ですが、認定農業者がいる農業経営体は約5割となっています。

県別にみると宮城県では6割を上回っている一方で、青森県及び秋田県は5割を下回っています(表5)。

表5 経営耕地を借り入れた認定農業者がいる農業経営体数及び借入経営耕地面積(東北・県別)

区 分	経営耕地がある農業経営体			経営耕地面積		
	借入耕地がある経営体		左の割合	借入耕地面積		左の割合
	経営体	経営体		ha	ha	
農業経営体計	190,831	58,363	31%	618,071	259,944	42%
うち、認定農業者がいる経営体	42,511	26,557	62%	325,403	172,836	53%
青森県	7,576	3,886	51%	54,687	24,114	44%
岩手県	6,112	3,501	57%	52,945	30,005	57%
宮城県	4,890	3,307	68%	45,607	28,221	62%
秋田県	8,191	5,108	62%	66,977	32,948	49%
山形県	9,008	6,406	71%	64,013	34,080	53%
福島県	6,734	4,349	65%	41,175	23,470	57%

資料：2020年農林業センサス結果

経営主の年齢

認定農業者がいる農業経営体の経営主の年齢の状況をみると、農業経営体数では60歳台が1万8,437経営体で最も多く全体の43%を占め、続いて多いのが70歳台で26%を占めています。

一方、農業経営体のうち認定農業者がいる経営体の割合をみると、経営主の年齢が若いほど高い傾向にあり、全年齢平均が22%であるのに対して、特に30歳台は38%、40歳台は35%と10ポイント以上高くなっています(表6)。

表6 経営主の年齢階層別の認定農業者がいる農業経営体数及び経営体数割合(東北)

区 分	農業経営体数とうち、認定農業者がいる農業経営体数			認定農業者 がいる農業 経営体数割 合
	農業経営体数	うち、認定農 業者がいる農 業経営体数	年齢別構成比	
	経営体	経営体	%	%
	①	②	③	④=②÷①
29歳以下	370	83	0%	22%
30歳台	2,980	1,125	3%	38%
40歳台	10,209	3,543	8%	35%
50歳台	29,900	7,554	17%	25%
60歳台	75,204	18,437	43%	25%
70歳台	56,456	11,101	26%	20%
80歳以上	19,074	1,463	3%	8%
計	194,193	43,306	100%	22%

資料：2020年農林業センサス結果

雇用（常雇い・臨時雇い）

認定農業者がいる農業経営体のうち常雇いを雇用した経営体は 2,486 経営体で全体の 6 %となっており、認定農業者がいない農業経営体のうち常雇いを雇用した経営体数割合の 1 %を大きく上回っています。

また、臨時雇いを雇用した経営体割合でも、認定農業者がいる農業経営体は 30 %となっており、認定農業者がいない農業経営体の 12 %を大幅に上回っています(表 7)。

表 7 常雇い及び臨時雇いを雇い入れた農業経営体数（東北）

区 分		農業経営体	認定農業者 がいる農業 経営体	認定農業者 がいない農 業経営体
農業経営体数		194,193	43,306	150,887
常 雇 い	雇い入れた農業経営体数	4,303	2,486	1,817
	全農業経営体に占める割合	2%	6%	1%
	雇い入れた実人数	19,003	12,651	6,352
臨 時 雇 い	雇い入れた農業経営体数	30,917	12,984	17,933
	全農業経営体に占める割合	16%	30%	12%
	雇い入れた実人数	240,501	121,022	119,479

資料：2020 年農林業センサス結果

後継者の確保

認定農業者がいる農業経営体のうち 5 年以内に農業を引き継ぐ後継者を確保している経営体は全体の 33 %となっており、認定農業者がいない農業経営体に比べて約 10 ポイント高くなっています。

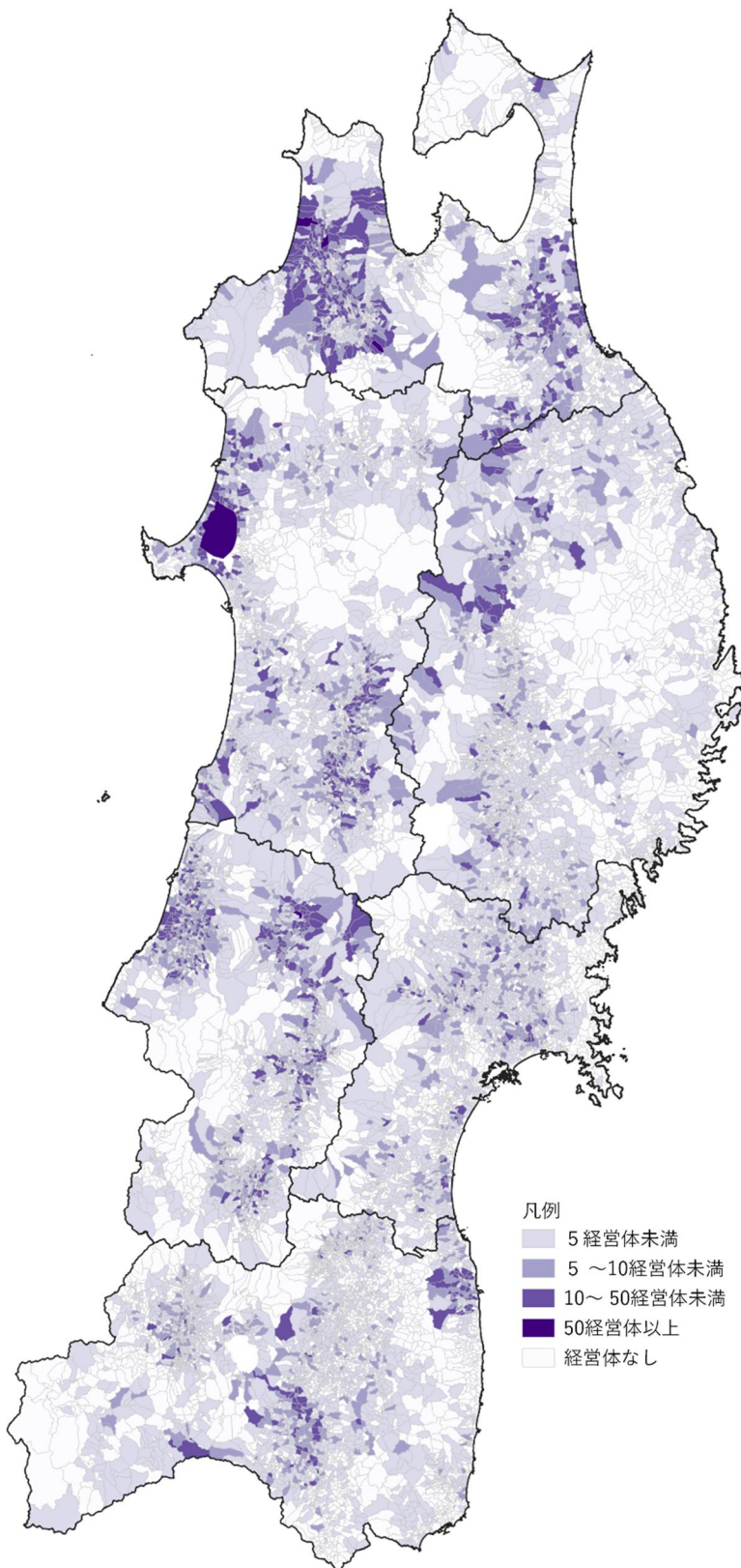
なお、5 年以内に農業経営を引き継がない農業経営体数割合は認定農業者の有無により差はありません(表 8)。

表 8 農業経営の後継者を確保している農業経営体数（東北）

区 分	農業経営体	認定農業者が いる農業経営体	認定農業者が いない農業経営体
農業経営体数	194,193	43,306	150,887
5 年以内に農業経営を引き継ぐ 後継者を確保している	50,464 26%	14,455 33%	36,009 24%
親 族	48,203	13,756	34,447
親族以外の経営内部の人材	1,628	540	1,088
経営外部の人材	633	159	474
5 年以内に農業経営を引き継が ない	8,173 4%	2,308 5%	5,865 4%
確保していない	135,556 70%	26,543 61%	109,013 72%

資料：2020 年農林業センサス結果

認定農業者のいる農業経営体数 （農業集落別色分け地図）



-お問合せ- 農林水産省東北農政局統計部統計企画課 電話：022-745-9378

「まふナビ東北（東北地域にクローズアップした分析）」はこちらからご覧いただけます。

東北農政局ホームページ <https://www.maff.go.jp/tohoku/stinfo/bunseki/maffnabi.html>

